

水島協同病院

MRI装置

新しくなって1年が経ちました!



横になって検査をおこないます

昨年11月に新しいMRI装置が搬入されて1年が経過しました。実際に使ってみた感想としては「画像が鮮明になった」、「検査時間が短縮された」、「新しい撮影方法（神経根撮影、全身拡散強調画像、CT様画像など）ができるようになった為、MRIに新たな進歩が期待できそう」などが挙げられ、患者さん・従事者どちらに対してもメリットばかりです。それに伴い検査数も増えており、非常に活発になったと感じています。

しかし、まだまだ新しく行える検査もあるため、今まで以上に装置について理解を深め、指示医のニーズや患者さんの負担軽減につながるよう頑張っていきます。

(放射線・MR科 瀬尾勝正)

シリーズNo.11

私をつくるモノ

職員の日々のエネルギーとなるモノなどをご紹介します。

医療福祉相談室 寺本博美

私の趣味のひとつは、洋裁です。道具を揃える必要があり、敷居が高いと感じるかもしれませんが、近年はインターネットの普及により取り組みやすくなっています。中古や年代物の良質なミシンが安価に見つけれ、動画解説付きの洋裁本などで技術を視覚的に習得できるようになってきたと思います。

手作り服の魅力は、素材・デザインなど、作り手の好みや理想を自由に表現し、世界に一つだけの服を完成させられる点です。また、服作りの作業自体が楽しく、集中して取り組むことで達成感と技術の向上が得られます。さらに、着る人のことを考えて心を込めて作ることで、既製服にはない丁寧な仕立やあたたかみが生まれ、長く愛着を持って大切にできる服になると感じます。

みずしま協同クリニック

糖尿病 Topics ②

世界では「ダイアベティス」と呼ばれています

Ⅱ前向きに治療へ取り組める環境が大切Ⅱ

「糖尿病」と聞くとどんなイメージを持たれますか？
糖尿病のある方の中には、病名を伝えることに抵抗を感じたり、偏見を恐れてしまう場合もあります。

合もあります。そういったイメージを払拭させるため、「糖尿病」から世界共通語の「ダイアベティス(Diabetes)」と呼ばれる動きが広がっています。

当院で使用している「糖尿病連携手帳」も「JADEC連携手帳」に変更になりました。まず、医療現場から糖尿病のイメージを一掃し、糖尿病のある人が前向きに治療に取り組むことができる環境が作れたらと思っています。

(看護科 岡山泰葉)



「糖尿病連携手帳」から「JADEC (ジャデック)連携手帳」へ

みずしま協同クリニック

9/11 肝臓病教室開催しました!!



職員も一緒に参加しました

9月11日、習慣飲酒をしている方や肝臓に興味のある方を対象に、第一回肝臓病教室を開催しました。

講義では看護師から肝臓と仲良く過ごしていくための話や、当クリニック精神科の遠藤医師より、肝臓とアルコールの関係や、肝臓を守っていくための話をさせていただきました。クイズコーナーでは、和気あいあいと肝臓に対する知識を深めました。質疑応答でも積極的にやりとりが交わされ、たいへん有意義な教室となりました。次回は1月8日(木)の開催です。ご希望の方は内科外来窓口までお願いします。
(看護科 黒笹啓子)

水島協同病院は差額ベッド料はいただいております